



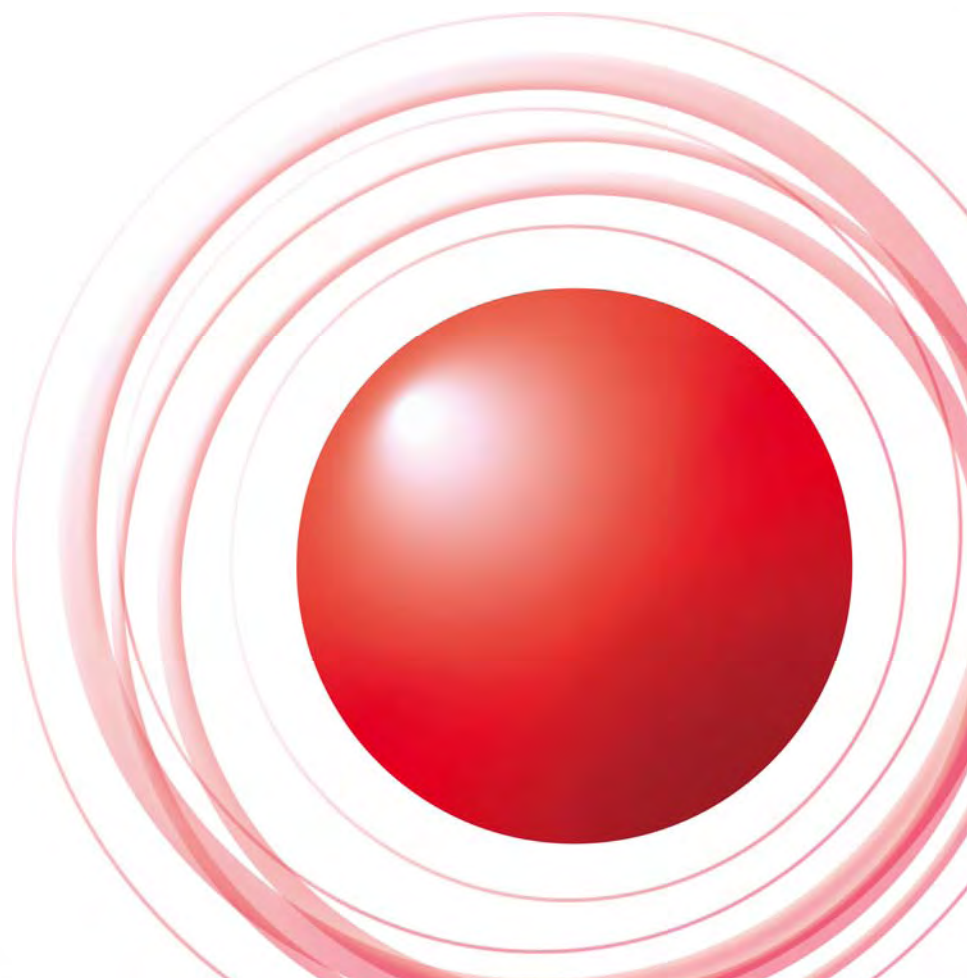
# 株式会社インターネットイニシアティブ

2010年11月

東証一部:3774 / NASDAQ:IIJI

<http://www.iij.ad.jp/IR/>

Ongoing Innovation



## ハイライト

---

- ◆ 国内トップクラスのIPプロフェッショナル
- ◆ 約6,500社の優良な大中堅企業・官公庁顧客基盤
- ◆ 日本におけるアウトソーシング市場の拡大
- ◆ ストック売上の積上げによる継続的な売上拡大、利益成長
- ◆ トータル・ソリューション・プロバイダーとしてのソリッドな成長モデルと新規事業による更なる中長期成長

## 国内トップクラスのIPプロフェッショナル

### ◆ 国内ISPの草分け

- ▶ トップレベルのIPエンジニアが集結、拡大
- ▶ 日本で最初にインターネット接続サービスを開始、マーケットを創造

### ◆ 「インターネット技術」がコア・コンピタンス

- ▶ インターネット事業を「ゼロ」から「自分たちの手で」作り上げた実績
- ▶ 日本で最大級のバックボーンを構築、運営
- ▶ 先進的なサービス・プロダクトを開発・提供し、マーケットをリード

### ◆ 情報システム部門に対する高いブランド力

- ▶ インターネット接続サービスから培った顧客との長い信頼関係
- ▶ 信頼性が高く、安定したネットワークサービスの提供、運用
- ▶ 高い顧客満足度、充実したサポート体制

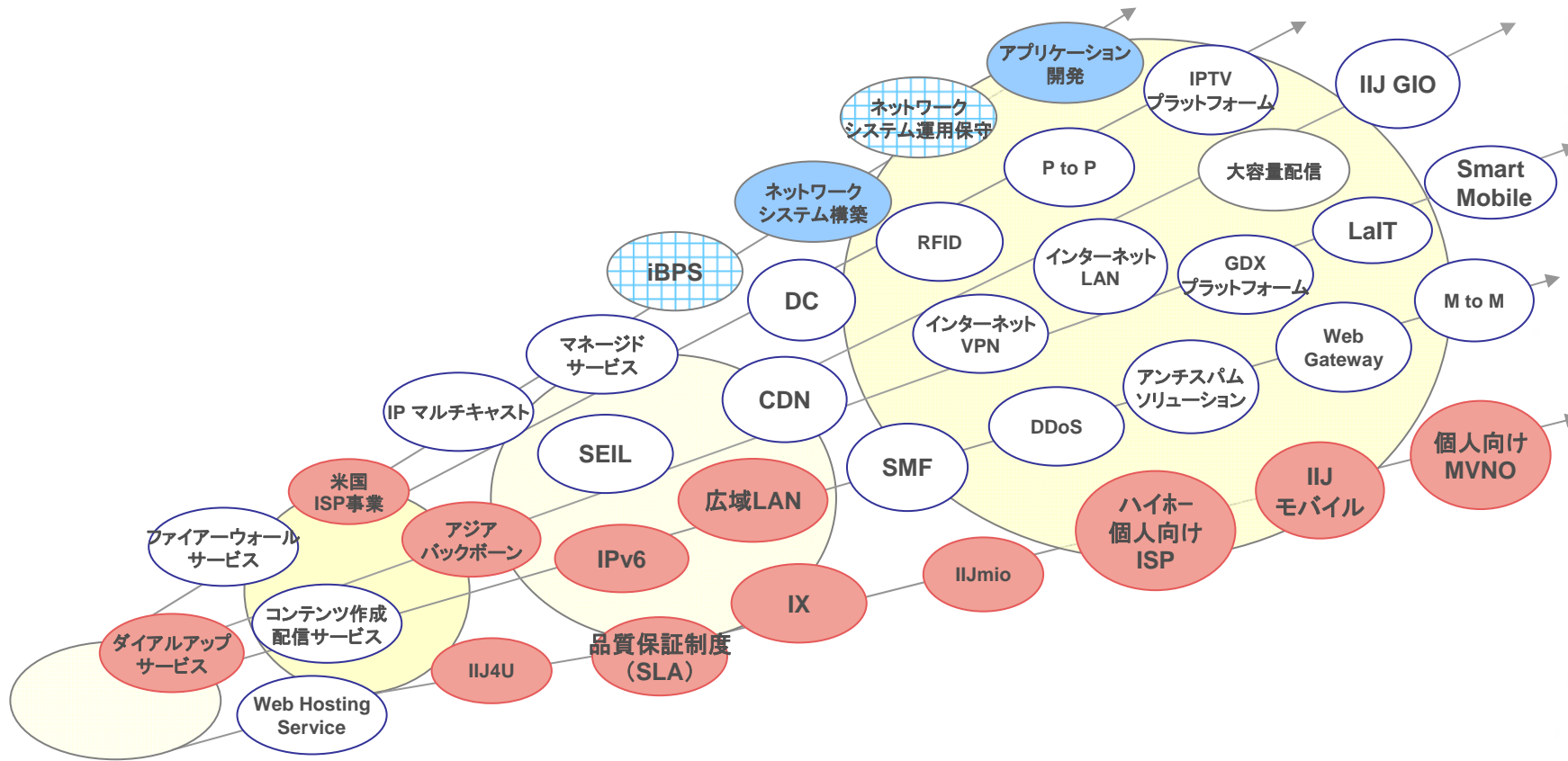
### ◆ 卓越したIP技術力・研究開発

- ▶ IPv6、モバイルIPv6、クラウド等、次世代の情報基盤技術の研究開発への取組み
- ▶ 総務省委託研究への共同参画
- ▶ 世界的なセキュリティ活動団体への参加等  
(「FIRST(ファースト)」や「テレコム・アイザック推進会議」)
- ▶ 迷惑メール対策機関「JEAG(ジエグ)」の立上げ

会社概要	
設立	1992年12月
従業員数(連結)	1,968名(2010/9末時点) (約70% エンジニア)
上場証券取引所	米国ナスダック市場(IJJI) 東証1部(3774)
大株主 (2009/9末時点)	NTT(24.5%)、鈴木幸一(6.2%)、 伊藤忠商事(株)(5.1%)、 NTTコミュニケーションズ(4.9%)

# IPネットワーク技術でのイニシアティブ

## ビジネス・サービス展開の変遷



IIJグループ

1992



1995



A-Bone

1996



IIJ Technology

1997



1998



Net Carz

2004



II Financial Systems

2006



Net Chat Japan



i-revo

2007



GDx



Trust Networks

2008



On Demand Solutions



IIJ INNOVATION INSTITUTE

2010

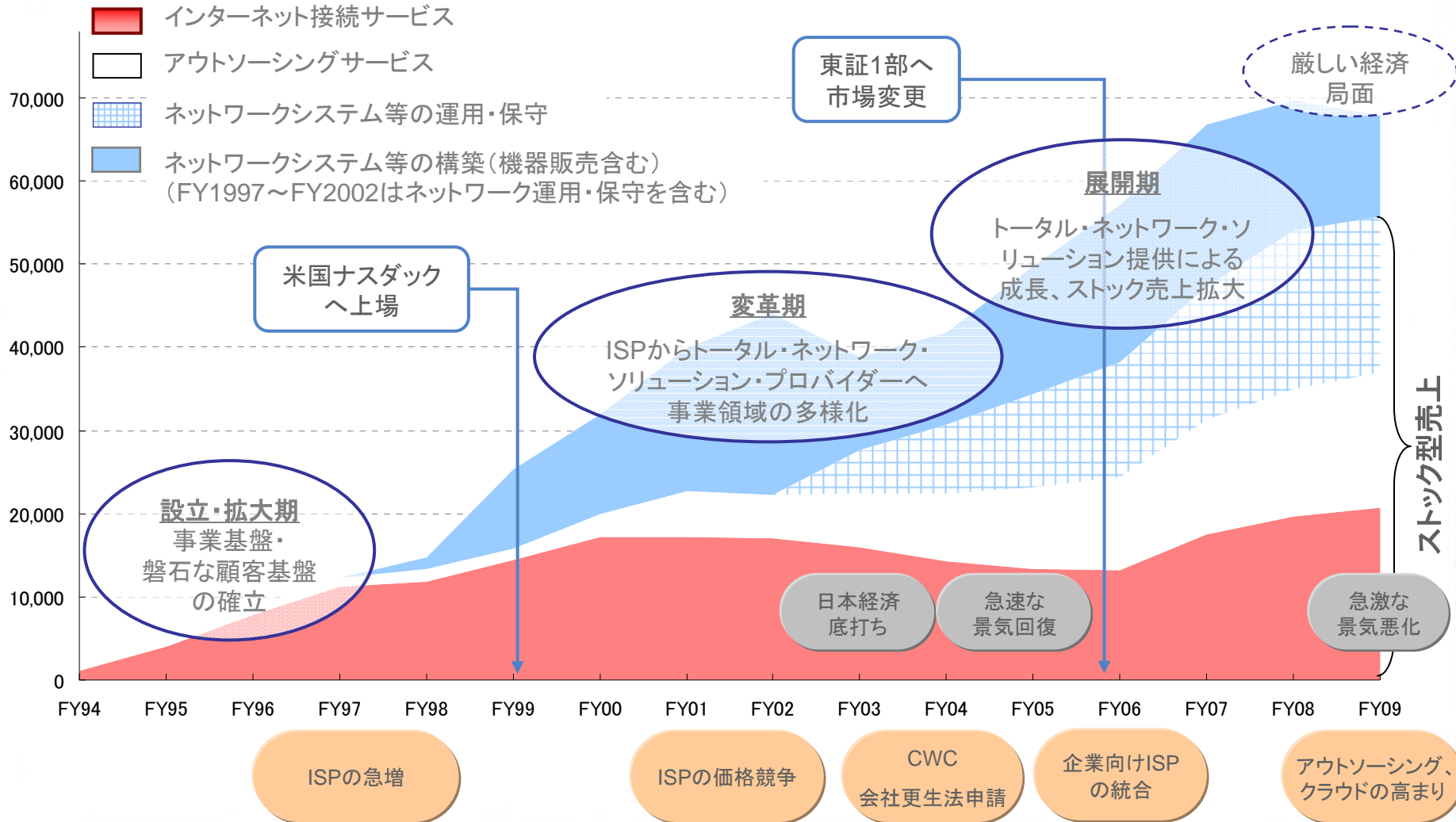


IIJ Global

# ビジネスモデルの戦略的転換

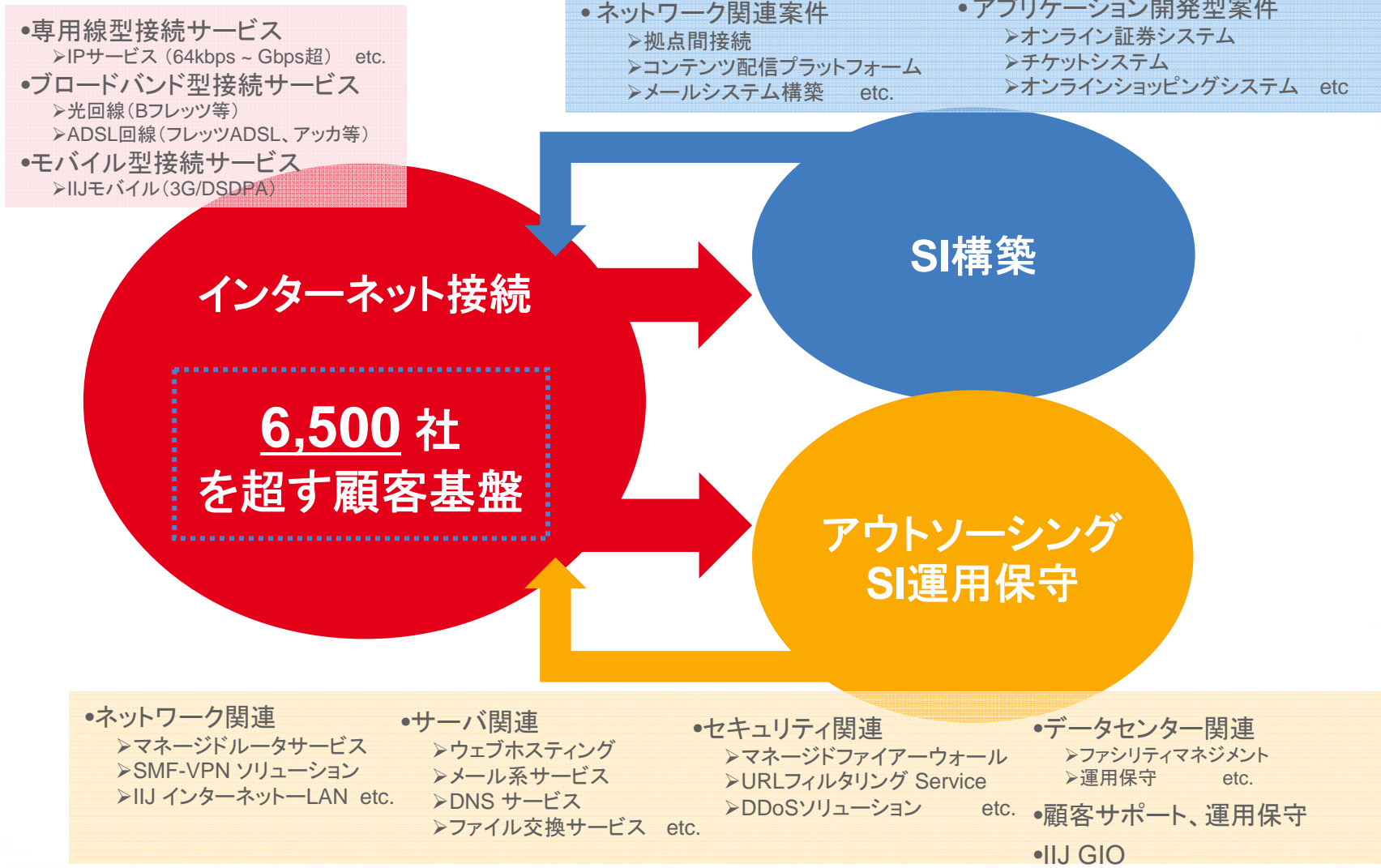
## ISPからトータル・ネットワーク・ソリューション・プロバイダーへ

(売上高, 百万円)



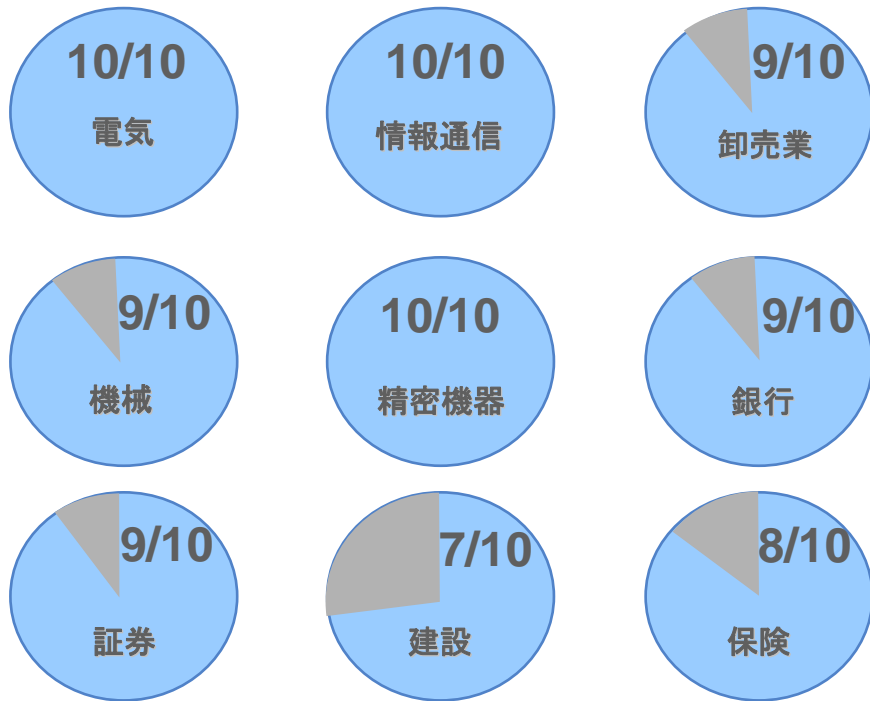
# 好循環ビジネスモデル

## ワンストップ・ソリューションによる囲い込み強化



# 経営資源としての優良顧客基盤

## 業界上位10社における浸透率



(出典)

東洋経済新報社「会社四季報CD-ROM」、及び日本実業出版社「業界シェア&市場規模」等から当社作成

## リーディングカンパニーとの長い信頼関係

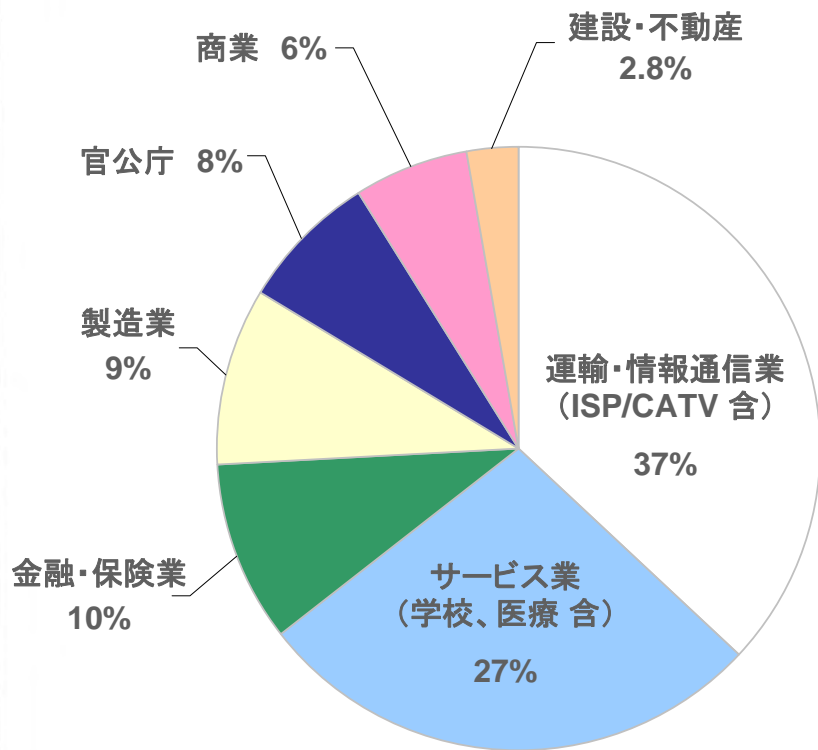


内閣府 法務省 環境省 総務省 財務省  
 文部科学省 国土交通省

and more...

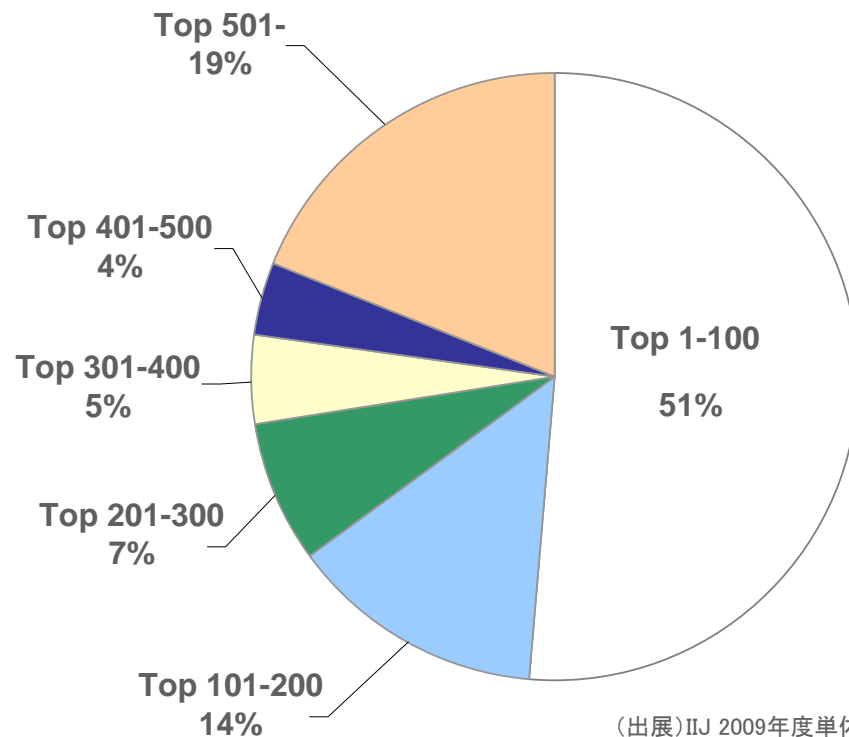
# 売上高別業種/顧客分布

業種別売上高分布



Source: IIJ 2009年度単体業績

顧客別売上高分布



(出展)IIJ 2009年度単体業績

• 特定業種/業界へ依存しない売上構成

• 特定企業への売上依存なし



# 成長戦略

顧客囲い込み戦略

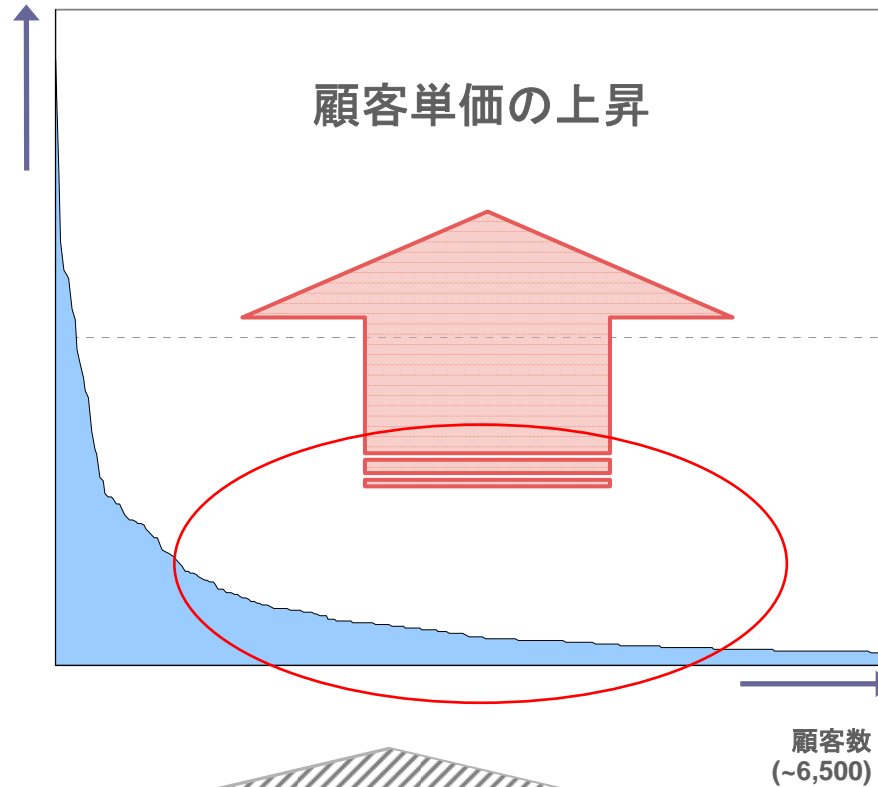
クロスセリング戦略

信頼性の高い、安定した高品質サービスの提供

新サービスの継続投入

ストック売上積上げによる売上高拡大と利益成長

売上高  
(百万円)



- ・ IT業界、期待される継続成長
- ・ アウトソーシング、クラウドニーズの高まり
- ・ 中長期的に必要な不可欠なIT投資需要

## 中期成長戦略

# 期待される成長

## 外部環境

### インターネット接続サービス

- ・ Gbpsを超える広帯域利用の促進
- ・ コンテンツ配信市場の拡大
- ・ モバイルデータ通信サービス市場の成熟
- ・ IPv6

### アウトソーシングサービス

- ・ セキュリティ関連サービスの継続伸張
- ・ クラウドサービス市場の台頭
- ・ データセンター市場の拡大

### システム構築

- ・ クラウドサービスに付随するシステム構築
- ・ 競争力強化のための攻めのIT投資の必要性の高まり
- ・ 景気低迷により凍結されたIT投資の再開

拡大を続ける  
IT需要に対して  
市場牽引し得る  
ポジショニング

中長期にて更なる  
企業価値向上を目指す

## IIJの強み

- ・ 日本におけるトップレベルのIP技術者集団
- ・ 卓越したIP技術力・研究開発
- ・ 優良顧客との長い信頼関係
- ・ 情報システム部門におけるブランド力
- ・ 官公庁や大企業との長期にわたる信頼関係
- ・ 多様性のある顧客基盤

## M&A戦略

(IIJグローバルソリューションズ)

- ・ AT&Tジャパンより一部事業譲受
- ・ 事業規模拡大
- ・ 約1,600社の優良顧客基盤
- ・ サービス提供領域拡大
- ・ 営業力強化
- ・ サービス品質向上

トータル・ネットワーク・ソリューション・プロバイダー  
7,800社超の優良顧客基盤に対するクロスセリング戦略(6,500→7,800社へ拡大)

# 積極的なサービス・ソリューション展開

## <クラウドサービス順調なスタート>

- 業界・業種に偏りはなく、ネット系・コンテンツ系・事業会社系等、幅広い企業より採用
- 10年以上のサービス提供実績で培ったノウハウと品質が高評価
- 2010年4月~9月の半年間で200案件超の導入実績
- 下期に向けてサーバ設備増強中

## <アウトソーシングサービス強化>

- 上期導入の新サービス・新ソリューション: **18件**
- 特にクラウドサービスに注力

### FY10 上半期投入の新サービス・新ソリューション

#### I I J G I O

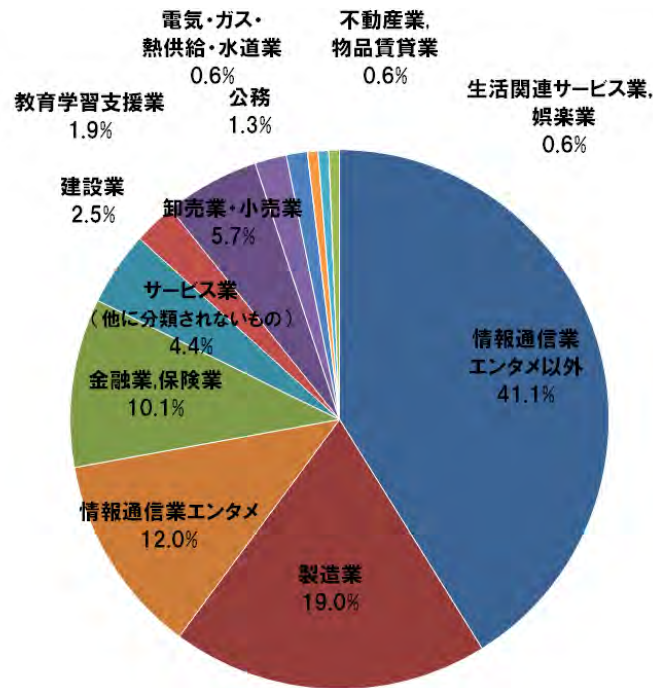
- 「I I J G I O ホスティングパッケージサービス」
- 仮想デスクトップソリューション「I I J G I Oリモートオフィス」
- I I J G I Oストレージサービス
- 国内初の外気冷却コンテナユニットによる「松江データセンターパーク」構築開始
- クラウドコンピューティングを活用した「BCP策定コンサルティング」
- iPadを活用した「I I J G I Oスマートモバイルソリューション」
- パートナー企業と協業ソリューション多数展開

#### I I J mobile

- M2M用W-CDMAモジュール「CWE-640J」向けにI I Jモバイル提供開始
- 「hi-hoモバイルコース-EM7.2PW」サービス開始

- 「I I Jサーバ証明書管理サービス」新品目追加
- I I JセキュアWebゲートウェイサービスに「SSL検査オプション」追加
- ASP型FXシステム「I I J Raptorサービス」提供開始

業種別利用状況



拡大が続くアウトソーシング市場を牽引

# IIJグローバルソリューションズ子会社化完了(2010年9月1日付)

## <子会社化の概要>

- 2010年9月1日 IIJグローバルソリューションズ子会社化
- AT&Tジャパンが営む事業のうち、主としてWANサービスをはじめとする国内ネットワークアウトソーシングサービス事業を譲受
- 顧客、人員譲渡等、滞りなく買収完了
- 買収金額:91.7億円(主に短期借入金による)
- 9月よりグループ営業等、連携開始し、クロスセリング案件も受注



IIJ Global

## <1H10 連結業績への影響額>

(B/S)※

●流動資産	9,191百万円
●固定資産	7,986百万円
うち、無形固定資産	5,718百万円
●流動負債	7,767百万円
●固定負債	78百万円

(P/L)

●営業収益	2,246百万円
●営業原価	1,761百万円
●販売管理費	224百万円
●営業利益	261百万円

## IIJグローバルソリューションズの特長

### 優良顧客基盤

- 金融業や製造業をはじめとする約1,600社の法人顧客を保有  
(IIJグループの顧客基盤との重複は約300社)

### WANサービス等を提供

- 特にWANサービス提供に強み
- 国内優良法人向けにネットワークアウトソーシングサービスを継続提供してきた実績
- 圧倒的なブランド力を持つ米国AT&Tと連携した国際ネットワーク関連サービスの提供

### 営業・販売力

- 優良法人顧客を維持・発掘してきた実績
- 日本IBMとのリレーション

(※)IIJグローバルの子会社化により取得した資産と引き受けた負債の金額の測定は、取得日から1年以内に終了することとされており、平成22年9月末においてかかる測定はまだ完了していませんので、今後金額が変更となる可能性があります。

# (株)トラストネットワークス



## ◆ 銀行ATM及びそのネットワークシステムの運営事業

- ▶ 2007年7月設立
- ▶ 2010年11月15日時点にて148台のATMを設置
- ▶ 今後3ヶ月間程度で250台前後追加設置見込み
- ▶ セブン銀行同様の手数料収入モデル

(ご参考) セブン銀行の2010年3月期の

売上高 869億円、営業利益 274億円

ATM設置台数 14,601台

＜ATM運営事業 売上高・営業損失の推移＞

(百万円)

	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10
売上高	7	31	70	98	106	123
営業損失	△233	△234	△263	△270	△161	△140



(イメージ)

## 2011年3月期連結業績見通し（変更無し）

単位: 百万円

	FY10 当初見通し (10/4~11/3)	FY10 見通し (10/4~11/3)	FY09実績 (09/4~10/3)	前年度比	
営業収益 (売上高)	71,000	84,500	68,006	16,494	24.3%
営業利益	4,300	4,800	3,412	1,388	40.7%
税引前 当期純利益	3,700	4,100	2,859	1,241	43.4%
当社株主に帰属する 当期純利益	2,600	3,000	2,234	766	34.3%
一株当たり当社株主 に帰属する 当期純利益	12,837円	14,801円	11,030円	3,771円	34.2%
一株当たり 配当金	2,500円 (年間)	2,500円 (年間)	2,250円 (年間)	250円	11.1%

▶ AT&TジャパンよりWANサービス等の国内ネットワークアウトソーシングサービス関連事業を譲り受けることから、6/1に見通しを上方修正。

**2010年3月期 第2四半期  
連結業績説明**



## 2011年3月期第2四半期(1H10) 総括

### 《2011年3月期 第2四半期累計(1H10)実績》

		＜1H10予想＞
・営業収益(売上高)	34,272百万円 (前年同期比 6.2%増)	32,300百万円
・売上総利益	6,842百万円 (前年同期比 9.7%増)	
・営業利益	1,201百万円 (前年同期比 3.0%増)	1,200百万円
・税引前四半期純利益	1,006百万円 (前年同期比 1.9%減)	1,100百万円
・当社株主に帰属する四半期純利益	859百万円 (前年同期比 20.1%増)	800百万円

- **ネットワークサービス売上高は前年同期比13.0%増、SI売上高は前年同期比4.7%減**
  - アウトソーシングサービスは、セキュリティ・コンテンツ配信・メール等継続伸張、クラウドサービス立ち上がり順調  
アウトソーシング売上高は前年同期比5.2%増
  - WANサービス売上高はIIJグローバルソリューションズ売上高(1ヶ月分)が寄与
  - SIは前Qの大口顧客減額影響があったものの構築売上は前年同期比351百万円増、SI運用売上は大口顧客減額影響吸収しきれず前年同期比987百万円減
- **9月1日付 IIJグローバルソリューションズ子会社化完了**
  - 法人顧客約1,600社、従業員245名 滞りなく譲受
  - グループ営業連携開始、クロスセリング案件も受注
  - 2010年9月(1ヶ月)連結業績影響: 営業収益22.5億円、営業利益2.6億円
- **通期連結業績見通し変更無し。中間配当予定通り1株当たり1,250円**
  - FY10通期連結業績見通し: 売上高 845億円、営業利益 48億円、当社株主に帰属する当期純利益 30億円
  - FY10期末配当: 1株当たり1,250円(予定)

### ● **アウトソーシング関連新サービス・ソリューションを積極展開**

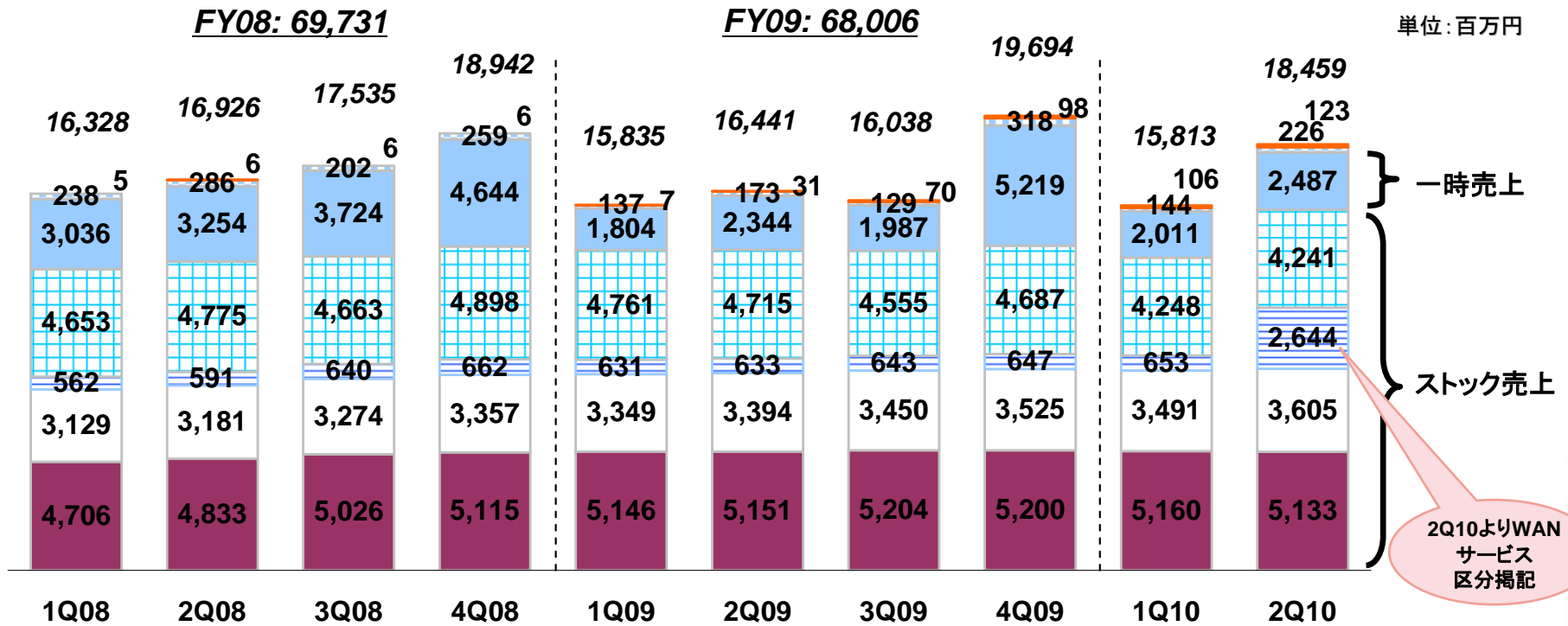
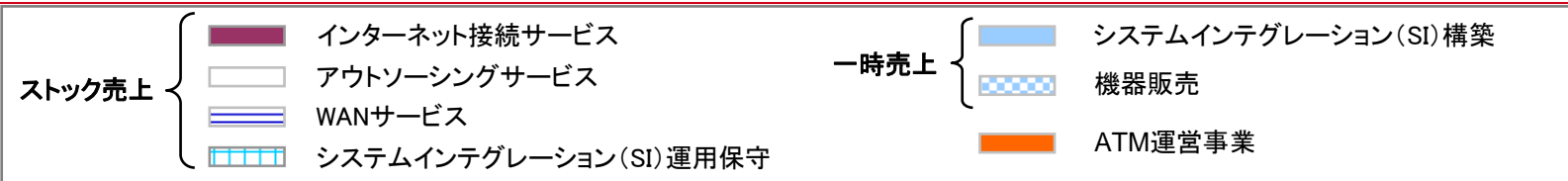
- Windows対応、ストレージ等クラウドサービスのラインナップ強化、クラウドサーバ需要は非常に高く下期に向け設備増強
- FX(外国為替証拠金取引)プラットフォームシステムの開発、金融機関向けASP提供開始(2010年11月)
- iPad等を活用する「IIJ GIOスマートモバイルソリューション」提供開始(2010年11月)
- MVNE事業、「IIJモバイルBiz+(ビズプラス)サービス」等、法人向けモバイルソリューション強化

## 2011年3月期第2四半期 累計連結実績サマリー

	売上比 1H10 (10/4~10/9)	売上比 1H09 (09/4~09/9)	前年同期比	売上比 1H10 予想 (10/4~10/9)
営業収益 (売上高)	342.7	322.8	6.2%	323.0
売上原価	80.0% 274.3	80.7% 260.4	5.4%	—
売上総利益	20.0% 68.4	19.3% 62.4	9.7%	—
販売管理費等	16.5% 56.4	15.7% 50.7	11.2%	—
営業利益	3.5% 12.0	3.6% 11.7	3.0%	3.7% 12.0
税引前 四半期純利益	2.9% 10.1	3.2% 10.3	△1.9%	3.4% 11.0
当社株主に 帰属する 四半期純利益	2.5% 8.6	2.2% 7.2	20.1%	2.5% 8.0

単位: 億円

# 営業収益(売上高)の推移



- ◆2Q10営業収益: 18,459百万円(2Q09比 12.3%増、1Q10比 16.7%増)
  - ストック売上: 15,623百万円(2Q09比 12.5%増、1Q10比 15.3%増)
  - 一時売上: 2,714百万円(2Q09比 7.8%増、1Q10比 25.9%増)
  - ATM運営事業: 123百万円(2Q09比 92百万円増、1Q10比 17百万円増)

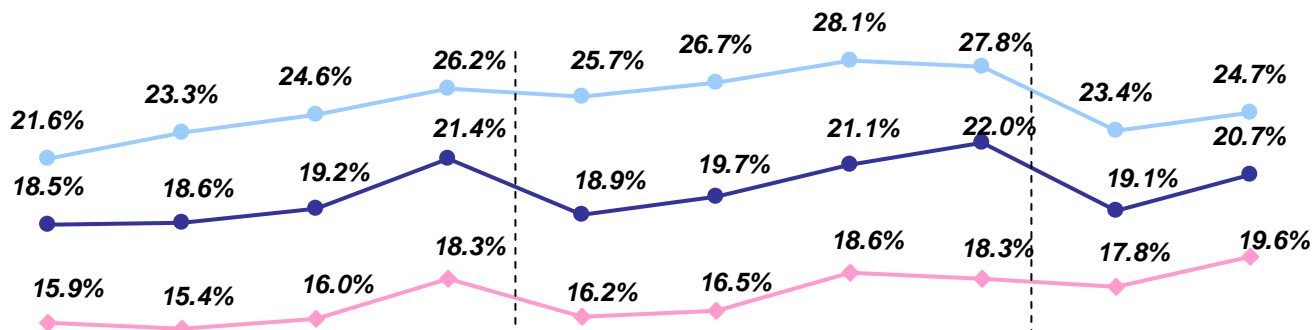
◆9月よりIIJグローバル営業収益(1ヶ月)寄与: 2,246百万円(殆どWANサービス、一部SI構築他)

(\*)2Q10より、IIJグローバルの子会社化に伴い「WANサービス」を区分表示しております。「WANサービス」は、従前は「アウトソーシングサービス」に含め表示しておりました。

# 売上原価・売上総利益率の推移

**売上原価**    ネットワークサービス    システムインテグレーション    機器販売    ATM運営事業  
**売上総利益率**    ネットワークサービス    システムインテグレーション    全体売上総利益率

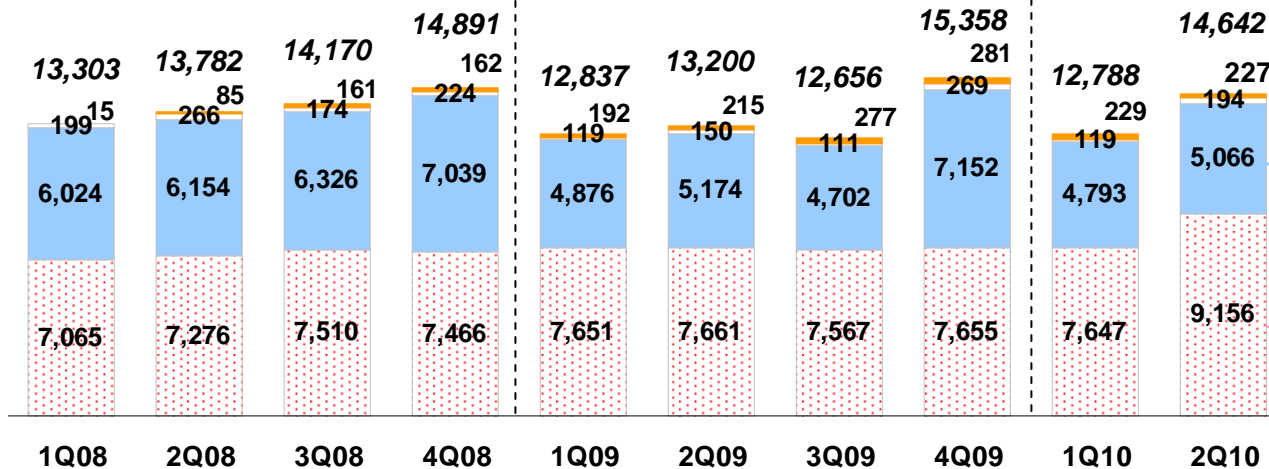
単位：百万円



**IIJグローバル(1か月分)**  
 売上原価：1,761百万円  
 売上総利益率：21.6%

**FY08 : 56,146**

**FY09 : 54,051**



**SI売上原価**  
 仕入、外注関連、設備関連、  
 人件関連費用 等

**ネットワークサービス売上原価**  
 バックボーン等回線関連、  
 ネットワーク等設備関連、  
 外注関連、人件関連費用 等

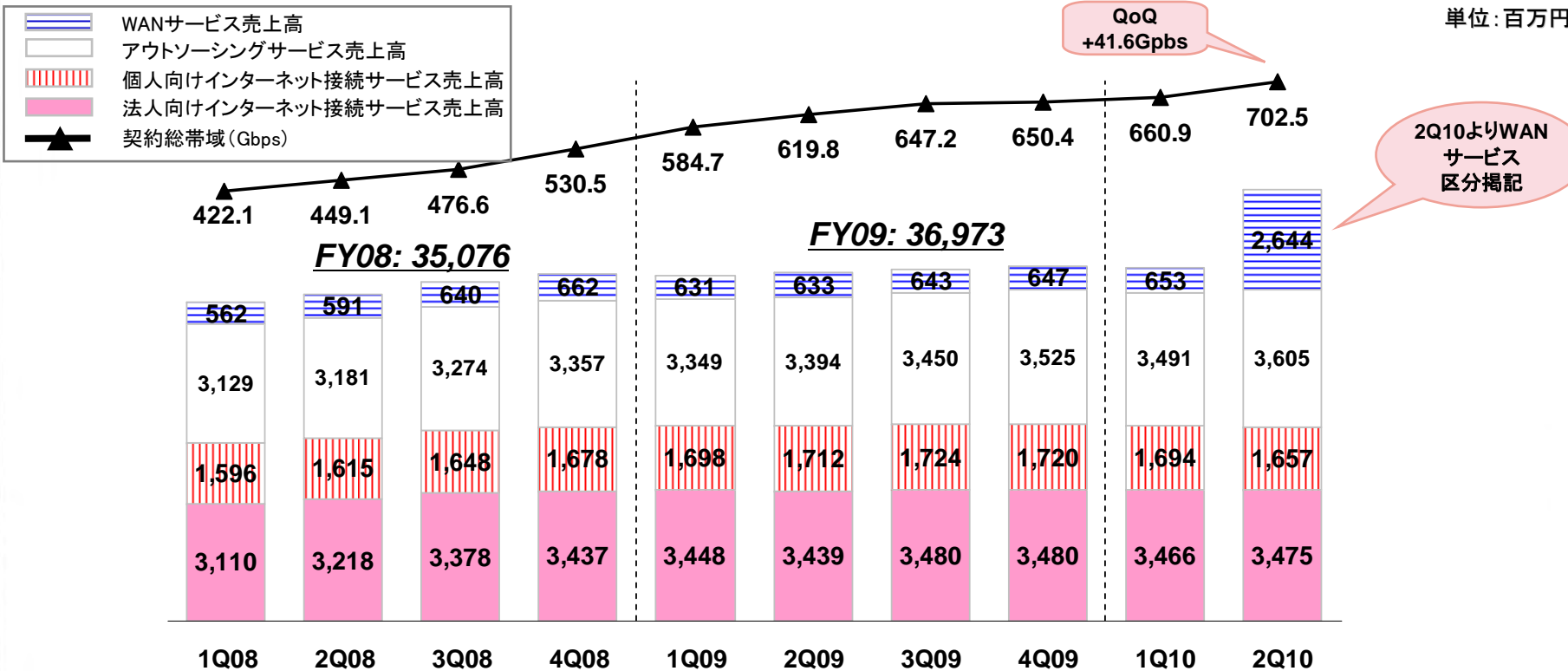
- ◆2Q10売上総利益：3,816百万円、売上総利益率：20.7% (2Q09比 +1.0ポイント、1Q10比 +1.6ポイント)
  - ▶ネットワークサービス売上総利益：2,226百万円、売上総利益率：2Q09比 +3.1ポイント、1Q10比 +1.8ポイント
  - ▶システムインテグレーション売上総利益：1,662百万円、売上総利益率：2Q09比 △2.0ポイント、1Q10比 +1.3ポイント
  - ▶ATM運営事業売上総損失：104百万円 (2Q09:184百万円、1Q10 123百万円)
- ◆ネットワークサービス売上原価は、IIJグローバル影響を除き、1Q10比低減

(\*)2Q10より、従前の「インターネット接続及びアウトソーシングサービス」を「ネットワークサービス」へと変更しております。

# ネットワークサービス

## ① 売上の推移

単位: 百万円

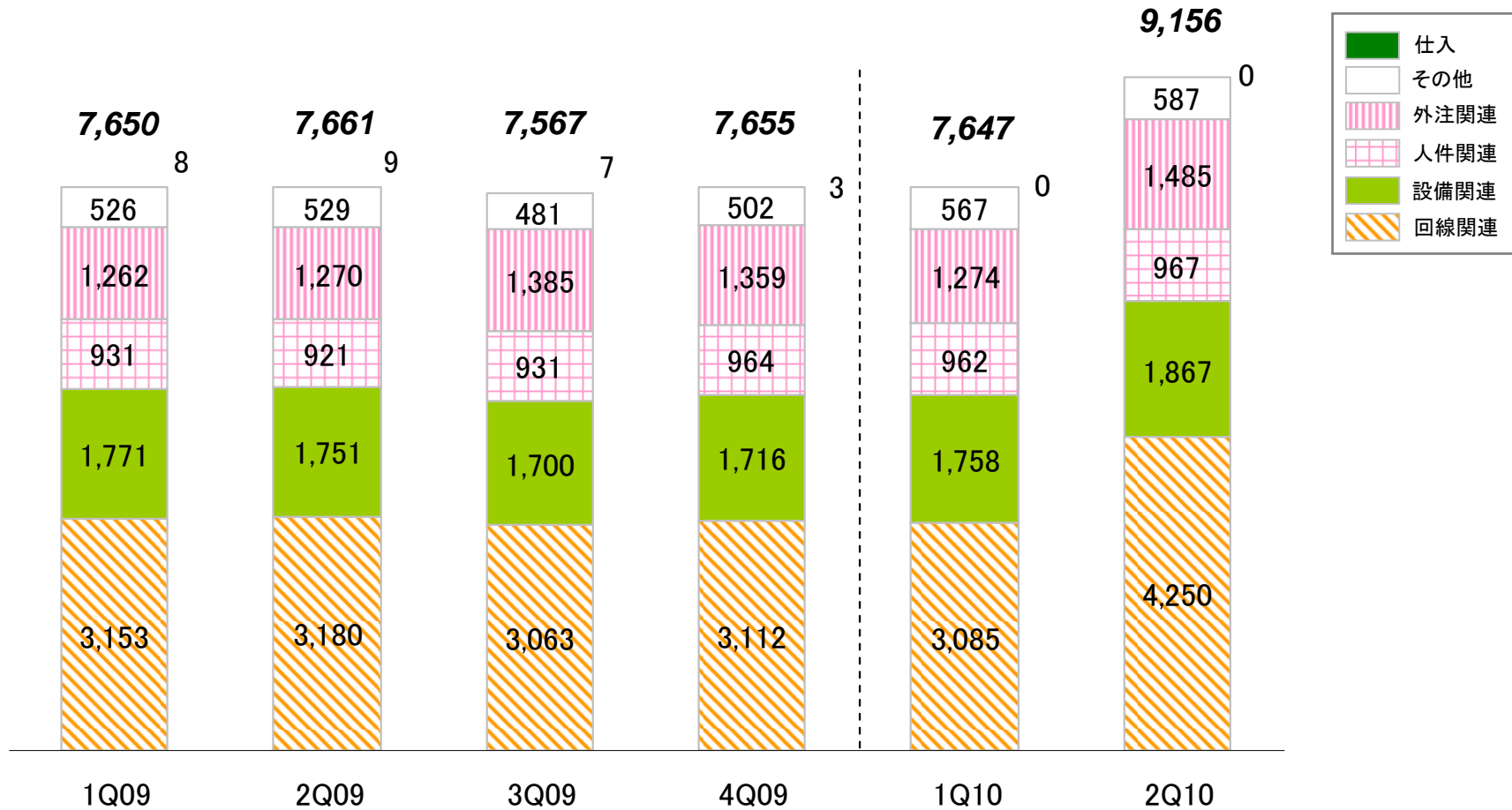


- ◆2Q10 法人向けインターネット接続サービス: 2Q09比 1.1%増、1Q10比 0.3%増
  - IPサービス: 大口の新規契約順次追加、従量課金復調等があり、期初に顧客統合等による大口解約・取引縮小があったものの、順調推移  
Gbps超契約件数は堅調積み上げ、2Q10末: 128件(2Q09末 106件、1Q10末 123件)
  - IIJモバイル: M2M案件への導入進展、前Qにあった大口解約を吸収し、契約数増加
  - ブロードバンド対応型サービス: LaITサービスの販社へのOEM展開等により契約数拡大
- ◆2Q10 個人向けインターネット接続サービス: 2Q09比 3.2%減、1Q10比 2.2%減
  - 新規追加ありつつ、OEM・旧型サービス解約等にて漸減
- ✓ モバイルサービス受注回線数: 累計4.2万回線超。M2M向け等に注力し更なる契約増を推進
- ◆2Q10 アウトソーシングサービス: 2Q09比 6.2%増、1Q10比 3.3%増
  - データセンター、映像配信、迷惑メール対策・Webセキュリティサービス等において順調に契約積み上げ。IIJ GIO売上高はシステム運用計上分含め月額50百万円弱と成長中

# ネットワークサービス

## ② 原価の推移

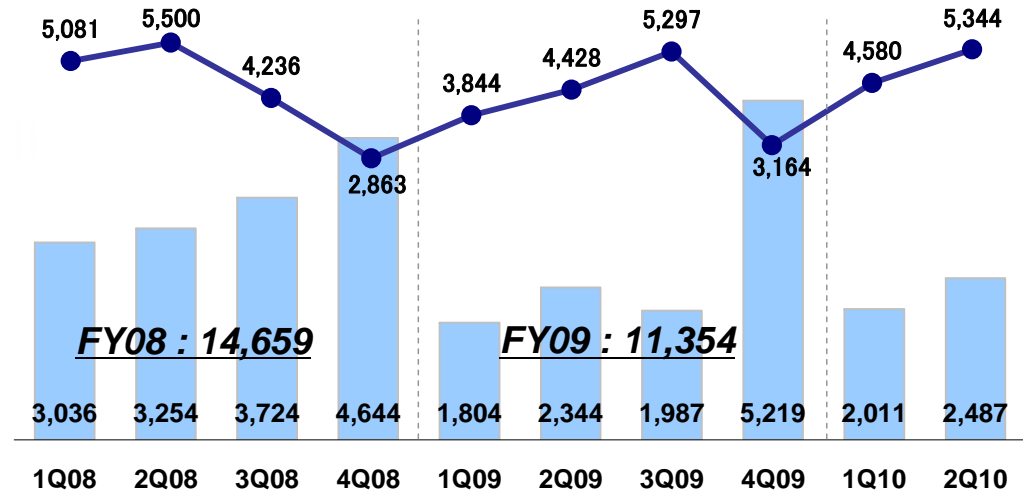
単位: 百万円



◆2Q10 ネットワークサービス原価総額 : 2Q09比 19.5%増、1Q10比 19.7%増  
 >IIJグローバル影響を除き、1Q10比低減

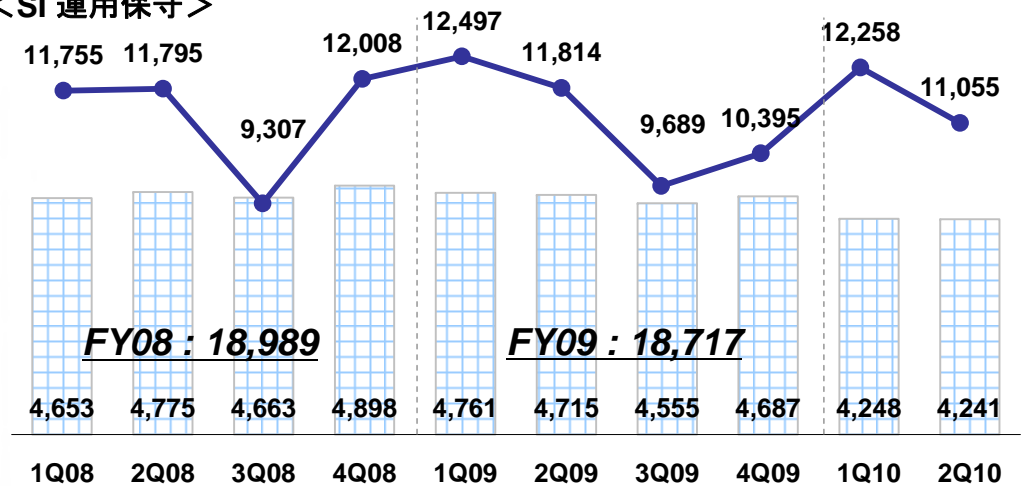
# システムインテグレーション(SI)

## <SI 構築>



3,592	3,960	2,662	3,530	2,921	3,101	2,985	3,403	3,572	3,478
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

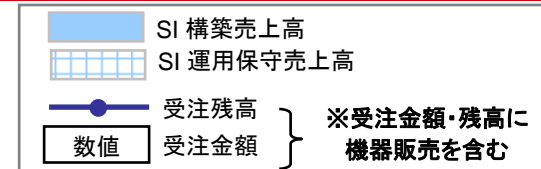
## <SI 運用保守>



5,262	4,815	2,175	7,598	5,250	4,032	2,430	5,392	6,111	3,037
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

## ① 売上・受注等の推移

単位：百万円



### SI 構築の状況

- ◆ 2Q10売上: 2Q09比 6.1%増、1Q10比 23.7%増
- ◆ 2Q10末受注残高:
  - 2Q09末比 20.7%増、1Q10末比 16.7%増
  - 2Q09比: ポータル・メールシステム構築案件、ネットワークリプレース案件等、中小型案件を獲得の上、前Qにあった個別大口顧客の取引縮小影響を吸収し、売上増加
  - 受注金額は2Q09比 12.1%増
  - 公共や金融系にて1億円超規模の案件受注、売上計上は4Q集中見込み

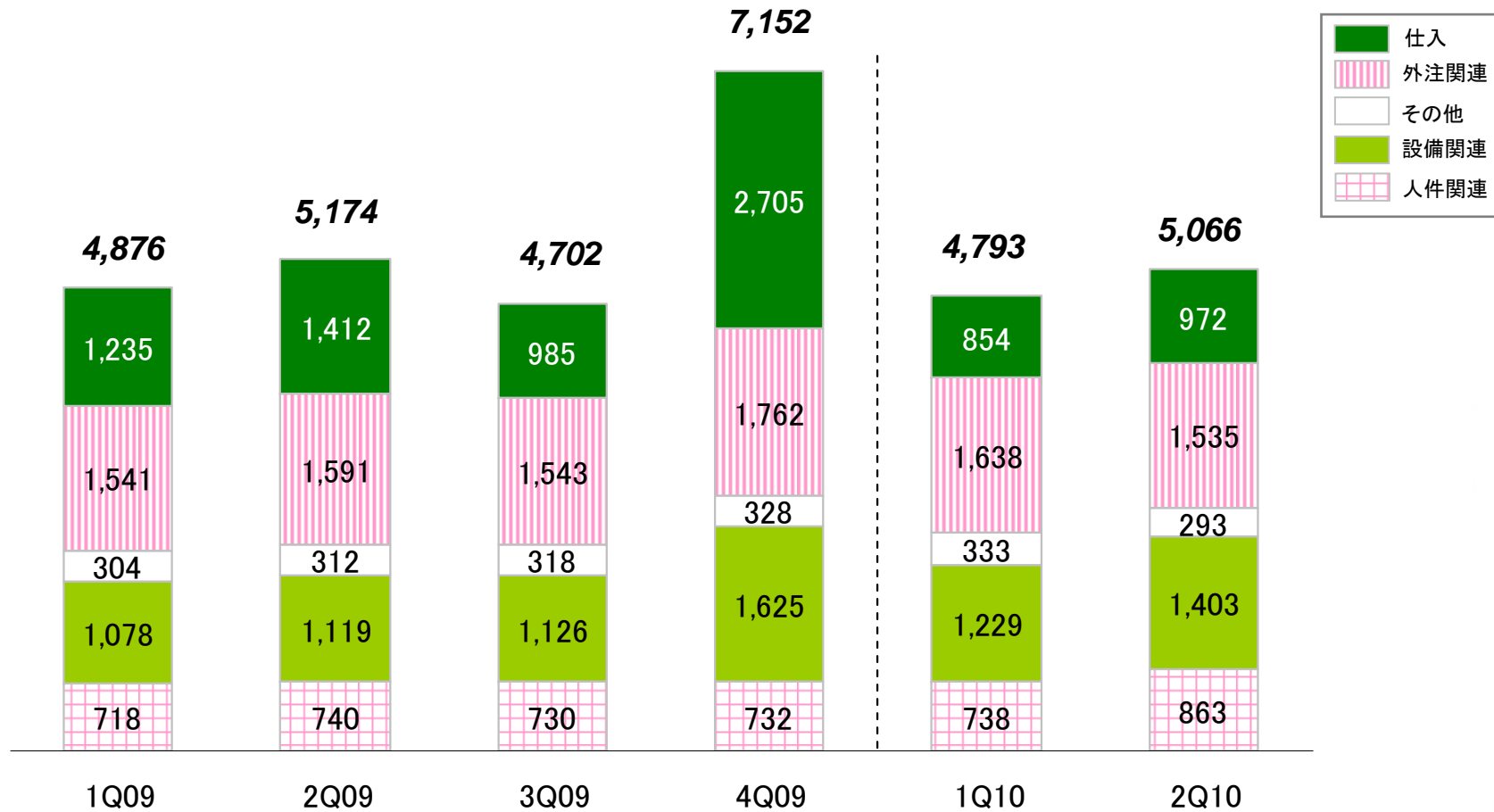
### SI 運用保守の状況

- ◆ 2Q10売上: 2Q09比 10.0%減、1Q10比 0.2%減
- ◆ 2Q10末受注残高
  - 2Q09末比 6.4%減、1Q10末比 9.8%減
  - 2Q09比: 新規保守案件の積み上げはあったものの、前Qにあった個別大口顧客の取引縮小影響があり売上は減少
  - 受注金額は2Q09比 24.7%減
  - 2010/11よりFXシステム稼働、みずほ証券・リテラクレア証券受注済、順次拡大へ

# システムインテグレーション(SI)

## ② 原価の推移

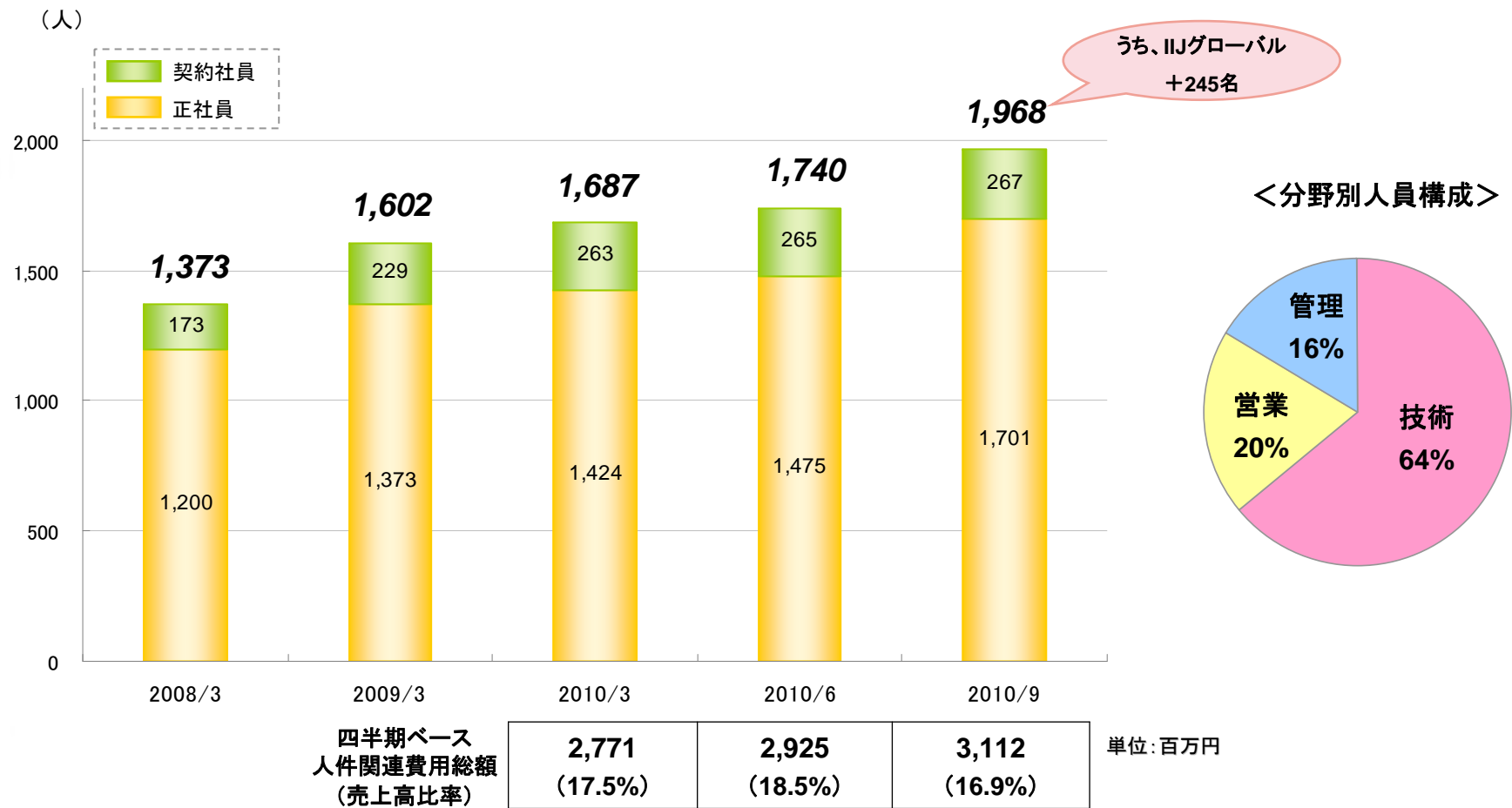
単位:百万円



- ◆2Q10 SI 原価総額: 2Q09比 2.1%減、1Q10比 5.7%増
  - 2Q09比:設備関連が増加したものの仕入が減少
  - 1Q10比:売上増加に伴う仕入の増加、設備関連費用増加
  - 常駐外注人員数は341名(2Q09末比 140名増、1Q10末比 横ばい)



# 連結従業員数の推移

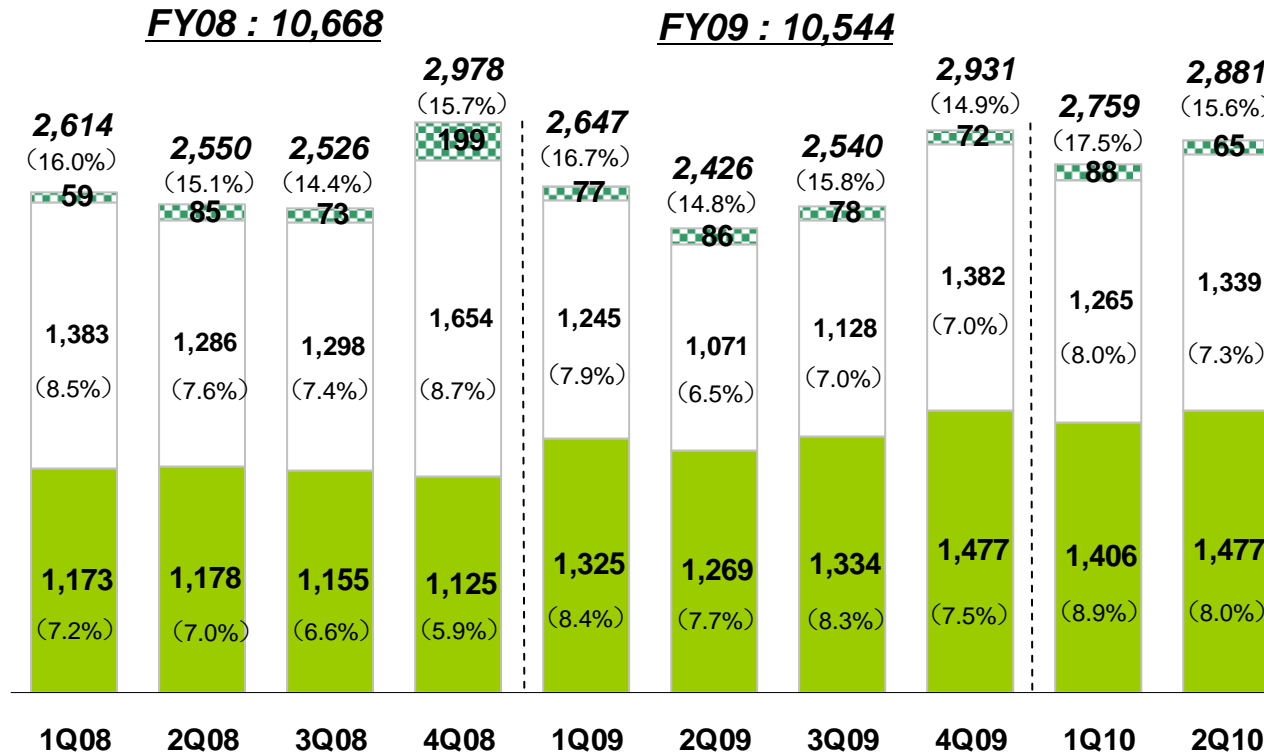


◆2Q10末 連結従業員数: 2Q09末比 268名増、1Q10末比 228名増

- IIJグローバル従業員数: 245名
- 2010年4月入社新卒新入社員数60名(09年4月実績: 77名、08年4月実績: 92名)

# 販売管理費・研究開発費(SG&A)の推移

単位:百万円



IIJグローバル(1ヵ月分)  
SG&A: 224百万円

- ◆2Q10 SG&A: 2Q09比 18.8%増、1Q10比 4.4%増
  - 販売費: 1Q10比: IIJグローバル子会社化に伴う人件関連費用・オフィス賃借料等の増加  
2Q09比: IIJグローバル子会社化に加え、減価償却費、人員増に伴う人件関連費用の増加。広告宣伝費は減少
  - 一般管理費: 1Q10比: IIJグローバル子会社化に伴うM&A関連費用56百万円、人件関連費用の増加  
2Q09比: IIJグローバル子会社化に加え、減価償却費用の増加
  - ATM運営事業に係るSG&A: 36百万円(2Q09: 50百万円、1Q10: 37百万円)。事業立ち上げに注力しつつ、外注費削減等コストコントロール実施

# 営業利益・当期純利益の推移

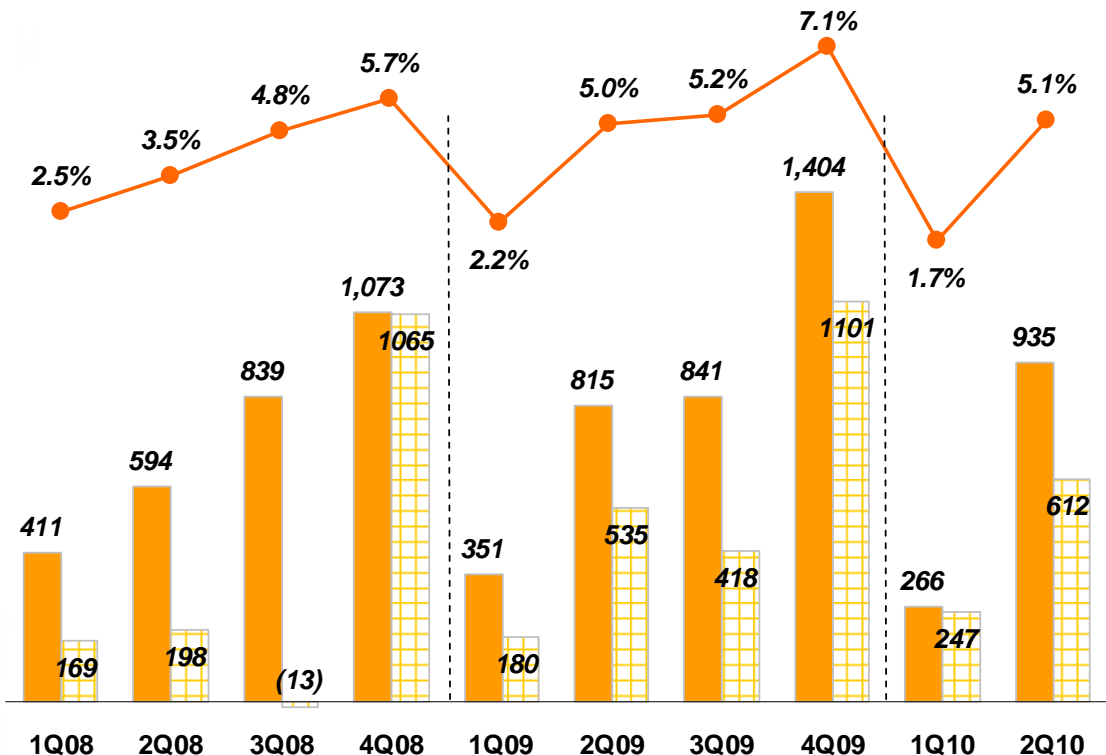
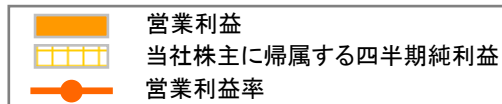
**FY08 営業利益 : 2,917**

**FY08 当社株主に帰属  
する当期純利益 : 1,419**

**FY09 営業利益 : 3,412**

**FY09 当社株主に帰属  
する当期純利益 : 2,234**

単位: 百万円



◆2Q10 営業利益:

- ▶ IJグローバルに係る営業利益(261百万円)寄与
- ▶ ATM運営事業の営業損失縮小

◆2Q10 税引前利益:

- ▶ 727百万円(2Q09:726百万円)
- ▶ その他の費用:有価証券減損等があり209百万円の費用(2Q09:89百万円の費用)

◆2Q10 当社株主に帰属する四半期純利益:

- ▶ 2Q09比:税効果会計による法人税等調整額(損)の減少により増益
- ▶ 非支配持分に帰属する四半期純損失はGDJ Japan及びトラストネットワークスに係る損失を計上

◆ ATM運営事業の営業損失推移:

	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10
売上高	7	31	70	98	106	123
原価	192	215	277	281	229	227
販管費	49	50	56	88	37	36
費用合計	240	265	333	369	266	263
営業損失	△ 233	△ 234	△ 263	△ 270	△ 161	△ 140

- ▶ 2010/11/15現在 ATM設置台数: 計148台
- ▶ 次展開準備が整い順次ATM増加中。今後3ヶ月間程で250台前後追加設置見込み。
- ▶ 外注・業務委託等、コスト低減により損益分岐点改善
- ▶ 連結子会社(株)トラストネットワークス 出資比率 75.1%(2010/10末現在)

	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09	1Q10	2Q10
法人税等	213	326	653	△190	244	284	514	90	120	160
税効果会計による法人税等調整額	127	251	594	△335	186	187	418	△34	88	75
持分法投資損益	18	△17	44	△10	32	11	85	32	34	△3
非支配持分に帰属する四半期純損失	55	85	120	93	93	82	90	83	54	48

# 連結バランスシート(サマリー)の状況

単位:百万円

	2010年9月末	2010年3月末	前期末比
現金及び現金同等物	9,408	8,764	+644
売掛金	17,624	11,397	+6,227
たな卸資産	521	808	△ 287
前払費用	2,283	1,593	+690
繰延税金資産(流動)	1,248	1,571	△ 323
その他投資	2,796	2,582	+214
有形固定資産	14,806	12,970	+1,836
のれん及び その他無形固定資産	10,987	5,459	+5,529
繰延税金資産(非流動)	909	685	+223
銀行借入金(短期)	13,450	4,450	+9,000
欠損金	△ 16,114	△ 16,720	+606
その他包括利益累計額	30	169	△ 139
当社株主に帰属する 資本合計	27,765	27,320	+446
総資産	65,923	51,115	+14,807

▶ 主として、IIJグローバルにより増加

▶ 非上場株式 1,796百万円  
▶ 売却可能有価証券 791百万円  
▶ 出資金 209百万円

▶ 非償却無形固定資産 3,589百万円  
 ・のれん 3,397百万円  
 (IIJグローバル:857百万円)  
 ・商標権 192百万円  
 ▶ 償却対象無形固定資産 7,385百万円  
 ・顧客関係 7,312百万円  
 (IIJグローバル:4,856百万円)  
 ・ライセンス 73百万円

▶ IIJグローバル株式取得資金等

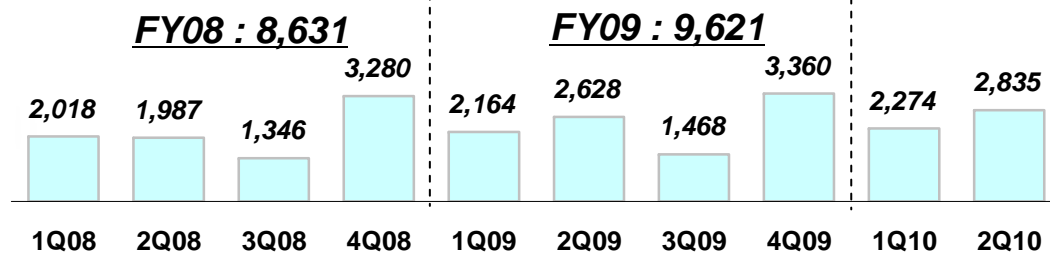
▶ 当社株主に帰属する資本比率  
 (株主資本比率)  
 ・10/9末:42.1%  
 ・10/3末:53.4%

▶ IIJグローバルにより増加

# 連結キャッシュ・フローの状況

## 営業キャッシュ・フロー

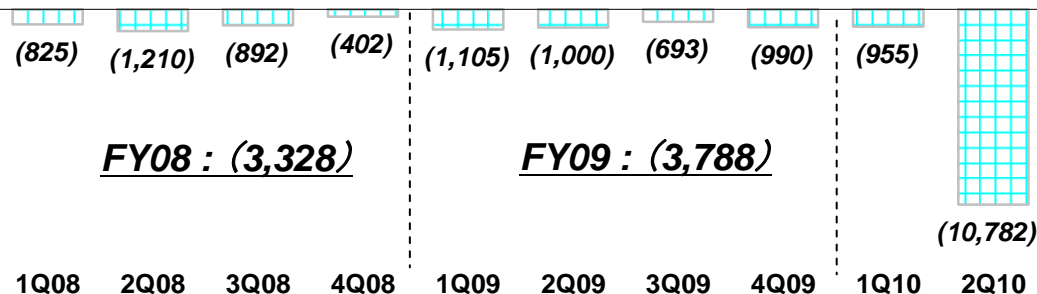
単位:百万円



### 2Q10 営業キャッシュ・フロー

- ▶ 営業利益の増加
  - ▶ 売掛金の増加 △2,522百万円
  - ▶ たな卸資産、前払費用、その他流動資産及び  
その他固定資産の減少 1,151百万円
  - ▶ 未払費用、その他流動負債及び  
その他固定負債の増加 1,174百万円
- 等

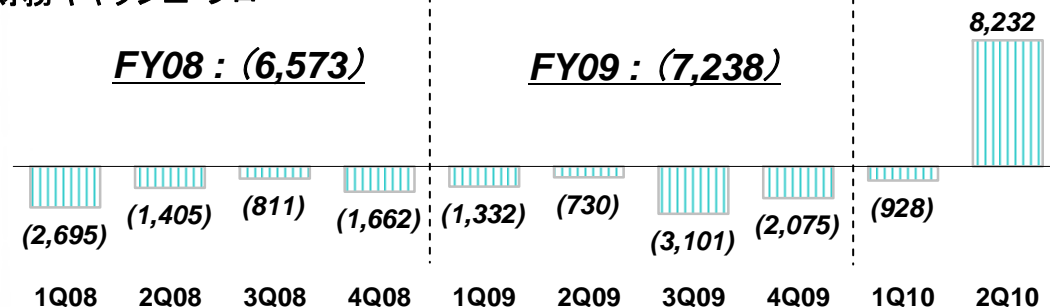
## 投資キャッシュ・フロー



### 2Q10 投資キャッシュ・フロー

- ▶ IJグローバルの取得 △9,170百万円
  - ▶ 有形固定資産の取得 △1,251百万円
- 等

## 財務キャッシュ・フロー



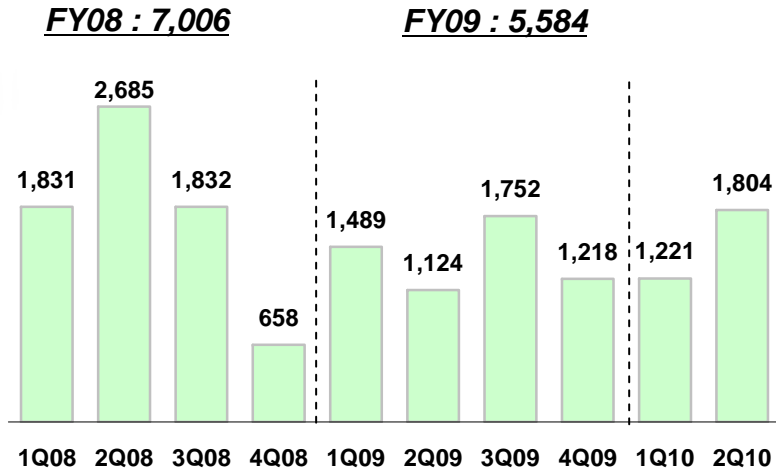
### 2Q10 財務キャッシュ・フロー

- ▶ 短期借入金の調達(純額) 8,930百万円
  - ▶ キャピタルリース元本返済 △735百万円
  - ▶ 自己株式の処分 37百万円
- 等

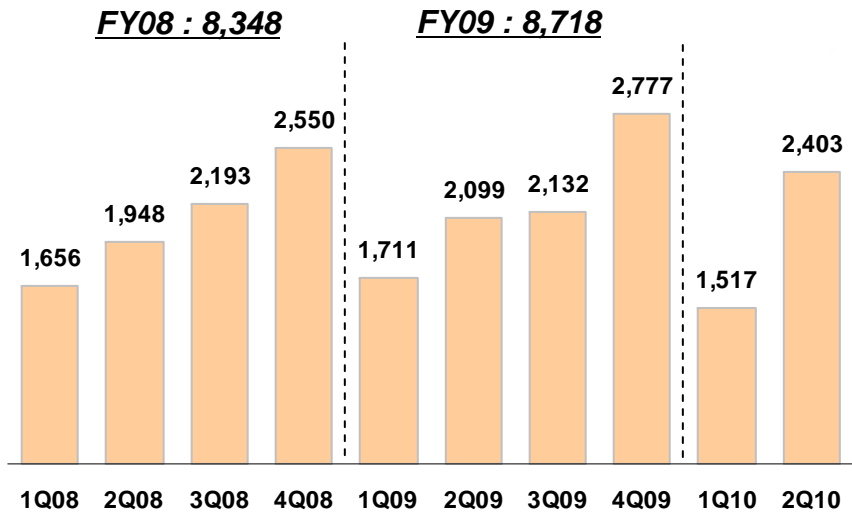
# CAPEX・減価償却・ Adjusted EBITDA の状況

単位: 百万円

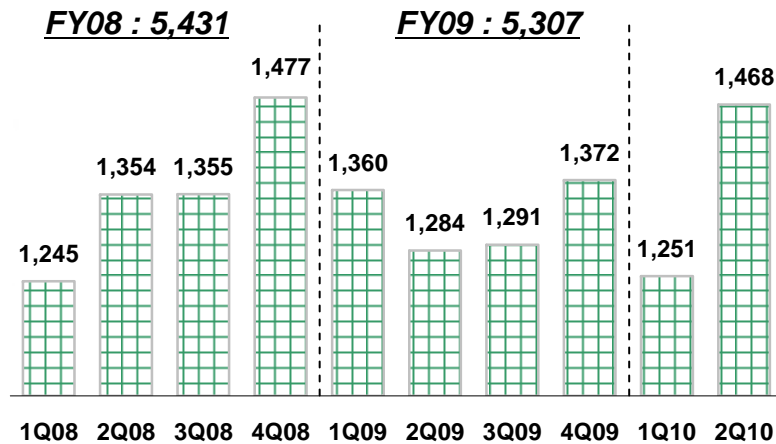
CAPEX (設備投資額、キャピタルリースを含む)



Adjusted EBITDA (償却前営業利益)














減価償却等



# グループ会社一覧

(2010年10月末現在)

	社名	出資比率	主な事業内容
連結 子会社	 (株)ネットケア	100%	ネットワークシステムの運用監視、カスタマーサポート、コールセンター等
	 ネットチャート(株)		LAN関連を中心としたネットワーク構築等
	 IIJ America Inc.		米国でのインターネットバックボーン網の運用、インターネット接続サービスの提供等
	 (株)ハイホー		個人向けISP事業等
	 (株)IIJイノベーション インスティテュート		インターネット技術開発および インキュベーション事業等
	 (株)IIJグローバルソリューションズ		WANサービス等国内ネットワークアウトソーシング 関連および国際ネットワーク関連サービスの提供
	 (株)トラストネットワークス	75.1%	ATM・ネットワークの運営等
	 GDX Japan(株)	62.3%	メッセージ交換ネットワークサービスの提供等
持分法 適用 関連会社	 インターネットマルチフィード(株)	32%	相互接続ポイントの運営、コンテンツ配信等
	 (株)インターネットレボリューション	30%	インターネットポータルサイトの運営等
	 TAIHEI COMPUTER	45%	ポイント管理システムの提供等

# 主要プレスリリース一覧

		日付	項目
FY10	1Q	4/8	IIJ、「SMFv2」に関する特許権を日米で取得
		4/12	IIJ、「IIJサーバ証明書管理サービス」に新品目を追加
		5/12	イーシー・ワンとIIJ、クラウド分野において協業
		5/14	IIJ、次世代のモジュール型エコ・データセンターの建設を発表
		5/31	IIJ、IIJセキュアWebゲートウェイサービスに「SSL検査オプション」を追加
		6/1	IIJ、「IIJ GIO ホスティングパッケージサービス」を提供開始
		6/1	AT&TジャパンLLCの子会社株式の取得(子会社化)に関するお知らせ
		6/3	IIJ、クラウドを活用した仮想デスクトップソリューション「IIJ GIOリモートオフィス」を提供開始
		6/28	IIJ、「IIJ GIOストレージサービス」を発表
	2Q	7/13	IIJ、M2M用W-CDMAモジュール「CWE-640J」向けにIIJモバイルを提供開始
		7/28	IIJ、個人向けサービス「IIJ4U」「IIJmio」のメールサービスでIPv6ネットワークに対応
		8/4	IIJ、「IIJファイルサーバ リモートバックアップ for NetAppソリューション」を提供開始
		8/19	IIJ、住宅業界向けクラウドサービス「住宅ひろば」のインフラを「IIJ GIO」で構築
		8/24	IIJとJBSが協業し、Microsoftコラボレーション基盤のクラウドソリューションを提供
		8/26	IIJ、商用として国内初となる外気冷却コンテナユニットによるデータセンター「松江データセンターパーク」を構築開始
		9/1	株式会社IIJグローバルソリューションズ事業開始に関するお知らせ
		9/16	IIJ、クラウドサービス「IIJ GIO」において、WAFサービスを提供開始
		9/30	IIJ、iPad等のモバイル端末をビジネス分野で活用するためのクラウドソリューション「IIJ GIOスマートモバイルソリューション」を発表
	3Q	10/14	クラウドコンピューティングを活用したBCP策定コンサルティングを開始
		11/1	IIJ、ASP型でFXシステムを提供する「IIJ Raptorサービス」を提供開始
		11/9	IIJとインフォテリアが提携し、大規模利用向けHandbookの提供を開始
		11/10	IIJ、「IIJモバイルBiz+サービス」を提供開始
		11/11	IIJ、みずほ証券にASP型FXシステム「IIJ Raptorサービス」を提供



## ※ 事業等のリスク

本資料には、1995年米国民事訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act of 1995)の「セーフハーバー」規定に定義する「将来性の見通しに関する記述(forward looking statements)」に該当する情報が記載されています。本資料の記載のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社グループまたは当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社グループまたは当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。現時点において想定しうる当社グループの主なリスク及び不確実性として、

- 1) 国内景気の低迷、経済情勢の変化等による企業のシステム投資及び支出意欲の低下、
- 2) サービスの中断等による当社グループのサービスへの信頼性の低下及び事業機会の逸失、
- 3) ネットワーク関連費用、外注費、人件費等、費用規模の想定を超える増加、
- 4) 競合他社との競争及び価格競争の進展、
- 5) 投資有価証券及び営業権等ののれん資産の価値変動及び実現、
- 6) 税効果会計による法人税等調整額の規模及び実現時期の変動

等がありますが、これら及びその他のリスク及び不確実性については、当社グループまたは当社が、1934年米国証券取引法(Securities Exchange Act of 1934)に基づき米国証券取引委員会に届出し開示している英文年次報告書(Form 20-F)及びその他の書類をご参照下さい。

## ※ お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ (財務部)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング

TEL: 03-5259-6500 FAX: 03-5259-6311 URL: <http://www.ij.ad.jp/IR> E-Mail: [ir@ij.ad.jp](mailto:ir@ij.ad.jp)